



Title	「出会いのてつがく」'02年度 終了アンケート 集計結果
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2003, 11, p. 50-51
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/7821
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「出会いのてつがく」'02年度 終了アンケート 集計結果

臨床哲学のメンバーが一年間行ってきたこの授業を反省し、次年度以降の参考にするため、最後の授業で受講生たちにアンケートをお願いした。「批判したら成績に響くのでは？」という生徒に、「ノー。次の授業に生かすために批判してほしい。」と返したが、果たして力を込めて批判してくれただろうか。

1. この授業を全体的に評価すると？ 5 - 4 - 3 - 2 - 1

* グラフ挿入 (2人 2 - 5 - 0 - 1人)

(* コメント) 全体的評価はまあまあであった。4 と評価した生徒は、「けっこう楽しかったし、学校でもやらないこととかあっておもしろかった。」と書き添えてくれた。

2. 印象に残った授業を挙げてください。

(複数回答) 「雑誌づくり」・「ざっし作り」・「ももさん」・「吉見さんと百々さん」・「ざっし モモ 車イス ファッション れんあいマニアの人 岸田さん」

「良 雑誌くれた時の授業。 悪 介護士の次の人の授業は辛かった。」

「・クローンについて考えたり、話を聞いたりした時。(もともとこうゆう話好き)

・車イスに乗って学校の外へ行った時(たった1～2cmの段差と坂に苦戦...。)

・6 / 4の助産婦さんの話(ちょうど私の誕生日でした...。)

「最初の方の「わしだ」？さんの「あいさつ」の授業」「特になし」

(コ) 三学期の雑誌作りや、ファッション美術館の百々さんは特に印象に残ったよう。

3. もっとここをこうしたらいい、こうして欲しいということはあるですか？

「ぱっとしなかったので...」

「おもしろく、長い話はおもしろくない」「講師の人の話はなしだけのときはつらい」

「一つのテーマをもっと長くしてやったらいい。一週間2時間1テーマではなくて1ヶ月8時間1テーマ。」

「恋愛のことについてもっと時間を取ってほしいかなと。」

「自由度をもっと高くしたらいいと思う。」「自由なであいをしたい」「特になし」

4. もっとこんなことがしたいということはありませんか？

「学校の外に出るようなことを多くしたらいいと思う。」「スポーツ」

「ない」・「特にないです」・「特になし」

(コ) 3と4への回答は、授業をする側にとって難しい要望ばかりだが、これらを受け止め、できるだけ応えていきたい。

5. 現在選択しているエリアと、進路の予定を教えてください。

現在のエリア名：情報表現 6名 うち表現(音楽) 1名以上、(美術) 2名以上

スポーツ健康 2名 福祉 1名

国際コミュニケーション 0 環境自然 0 理数 0

回答なし 1名 * グラフ化する

進路の予定：進学 大学 3名 / 短大 / 専門学校 3名 / 就職 3名 ? 1名 * グラフ化する

希望の学部や分野、仕事があれば教えてください。

(進路) 大学：「分野 美術系、仕事 イラストレーター(動物、まんが系)など」

「福祉などに行けたらいいなと。あと農業などもいいと思う。」

「日本史の勉強がしたい」

専門学校：「福祉関係。整備(車)関係」「コンピュータかんけー」

就職：「音楽」「ゲーのー」

(コ) 情報表現エリアの選択者が多かった。進路予定は大学も就職もさまざま。

(コ) 生徒たちは、この授業は嫌ではなかったが、もっと面白くするよう望んでいる。また、この度も「コンピュータかんけー」とか「げーのー」との表現を見ると、我々ももう少し何とかできることはないかと思わなくはない。ともあれこの授業の受講生たちには一年間の出会いに感謝し、これからも元気で活躍してほしい。そして我々ももう一度、福井高校で「出会いのてつがく」に臨もう。

'02 年度「出会いのてつがく」協力者（肩書きは当時）

鷲田 清一 臨床哲学教授
百々 徹 神戸ファッション美術館学芸員
本間 直樹 臨床哲学講師
玉地 雅浩 高雄病院理学療法士
伊藤 悠子 芦原病院看護師
霜田 求 大阪大学大学院医学系研究科医の倫理学助教授
中岡 成文 臨床哲学教授
岸田 智 臨床哲学博士後期課程
吉見 由香 フリーアナウンサー
重信 嘉彦 介護老人保健施設ニューラーフガラシア介護福祉士
西川 勝 介護老人保健施設ニューラーフガラシア看護師 / 臨床哲学博士前期課程
田中 俊英 ドーナツトーク社 / 淡路ブラッツ / 臨床哲学博士前期課程
稲葉 一人 京都大学大学院医学系研究科 / 科学技術文明研究所特別研究員
Lyudmila Slavianska 臨床哲学博士後期課程
高橋 綾 臨床哲学博士後期課程
三浦 隆宏 臨床哲学博士後期課程
会沢久仁子 臨床哲学博士後期課程